

①入学までの準備

以下は、楽しい学校生活を送るために、入学までに身に付けておいていただきたいこと、準備していただきたいことです。入学以降も家庭と学校で連携して身に着けるまで見届けていきましょう。

(1) あいさつ・返事は、はっきりと

あいさつは、人とのコミュニケーションの第一歩となる大切なものです。本校でも、あいさつがきちんとできる子の育成に重点を置いて指導しています。

また、人から「〇〇さん」と呼ばれたときに『はい』と明るく返事ができるようにしましょう。

(2) 言葉は、いつもはっきりと

学校では、“言葉”を使って相手に伝えていきます。家庭と違って一対一ではありません。その子なりの“しぐさ”では伝わりません。トイレに行きたい時、急にお腹が痛くなった時など、困った時すぐに伝えたいことを言葉にして言える習慣を身につけておきましょう。

日頃から家族の中で自分の気持ちを話したり、家族の話を最後まで聞いたりする時間を大切にしてください。お子さんの態度や断片的な言葉で応じるのではなく、最後まできちんと話をさせて、聞くようにすることで、しっかり話せる力が身につきます。普段からの心がけが肝心です。

(3) 身の回りの始末は自分で

- ① 体重測定や体育の時など、着替えることが多くあります。自分で着脱しやすい服装で、目安として3～5分程度でできるとよいです。
- ② 脱いだ衣服をたたみ、袋へしまえるようにしましょう。
- ③ 道具など使った物は、時間の中できちんと片付けられるようにしましょう。「元にあった場所にきちんと戻す」ことを、しっかり身につけておきましょう。
- ④ トイレが一人でできるようにしましょう。また、和式トイレも使えるようにしましょう。（校内や遠足等の公園などにも和式トイレがあります。）
用便をすませた後には、水を流せるようにしておいてください。

(4) おしっこ、大便のしつけも(朝うんちの習慣づけを)

毎朝、規則正しく用便をすませてから登校するようにしましょう。

(5) 睡眠は十分に(10時間くらい)

入学当初は、生活の変化から体がとても疲れ、それが原因となって病気になる場合もあります。睡眠時間を十分に取って、早寝・早起きの習慣を身につけてください。

始業は8時15分です。起床は、1時間半から2時間くらい前がよいと言われています。規則正しい十分な睡眠は、学力を高めるだけでなく、落ち着いた気持ちで生活が送れる心の成長にもつながります。遅くとも9時には寝る習慣をつけましょう。

(6) 友だちと仲良く遊べる子に

友だちと仲良く遊べると、学校生活がより楽しくなります。友だちと遊ぶことを通して、お子さんの人と関わる力が育ちます。

遊びを通して、自分の気持ちや相手の気持ちをきちんと伝え合ったり、時には少しがまんしたりすることも含めて、協調性や自主性が育っていきます。

特に、すぐ手や足が出てしまうお子さんは、きちんと気持ちを言葉で伝える力を育てることが大切です。学校は、いろいろな子ども達の集団生活の場です。誰とでも仲良く遊べる心豊かな子に育てていきましょう。

(7) 物を大切に【記名は全てひらがなで】

衣服や鉛筆等、細かい物まで持ち物には必ず名前をつけて、他人の物との区別ができるようにしておきましょう。特に多い落とし物は、ハンカチ、マスク、上着、下着です。算数ブロック、計算カード、クーピー、クレパス、ピグマックスは、一つ一つ個々に名前を付けてください。一人一つ落とすと、全校で500個の落とし物になります。無くなったら買えばいいではなく、落とさないように整理整頓をする、落としたら自分に届くようにするようにならしましょう。物を大切にする心を育てていきましょう。

(8) 食事は20分くらいで

学校では、決められた時間の中で生活をしています。食事の時間はだいたい20分くらいです。時間内に食べられるように練習しておきましょう。また、食べ物に好き嫌いがあるお子さんは、スプーン1杯ずつでも食べられるようにしておきましょう。

(9) 自己肯定感のある子に

当たり前に見えることでも、子供にとっては集団に馴染み、時間に合わせて学校生活を送ったり、帰宅してから次の日の準備をしたりすることは、とても努力を要することです。小さなことでもできた時には、たくさん褒めてください。テスト等を持ち帰った際には、間違ったところばかりでなく、できたところを認めてあげてください。褒められることにより、自信につながり、何事も前向きに取り組めるようになります。

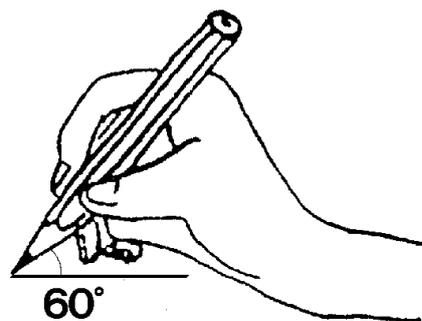
(10) 鉛筆の持ち方と文字の学習

鉛筆の持ち方は、最初が肝心です。

鉛筆は力を入れずに持ち、紙との角度が60度前後が書きやすいと言われています。箸の持ち方と関係があるので、あわせて練習しておきましょう。

正しい持ち方、ひらがな50音の書き順、はね、はらい、とめ等細かいことについては、国語の最初の授業で学んでいきます。身に付くまで見届け、励ましながら粘り強く見ていきましょう。

自分の名前は、読めて、書けるようにしておいてください。



②教材・学用品について

(1)筆箱

飾りや付属品、絵柄のついていない箱型ものにしてください。

筆箱、クーピーの鉛筆削りは、外しておいてください。

※ポーチやカンペンは不可です。

(2)鉛筆

6Bを最低3本、硬筆用鉛筆太芯6B(先をとがらせない)を1本用意してください。

赤青色鉛筆(1:1)1本を毎日削って持たせてください。 (絵柄の無いもの)

キャップは不可です。

また、油性名前ペン (マイネーム) も持たせてください。

(3)消しゴム

白い直方体のもので、弾力のある、ごく一般的なものにしてください。香水入りや模型型のものは消しにくく、手悪さの原因にもなりますのでやめてください。

名前はゴムの所に直接書き、消しゴムカバーにも書いてください。

(4)下敷き

ソフト下敷き<A4> (本日購入していただくような筆圧の調整ができる下敷き)

(5)引き出し

坂戸市の予算で購入しています。個人で購入する必要はありません。

(6)雑巾

雑巾は学期毎に1～2枚必要です。児童がしぼりやすいように薄く作ってください。椅子にかけておくために、ゴムひも付き洗濯ばさみが2個必要です。

同様に帽子かけ用のゴムひも付き洗濯ばさみを1個用意してください

ゴムは、使用しているうちに伸びきってしまうものがありますので、素材選びにご注意ください。ゴムひも付き洗濯ばさみは、合計3個必要です。

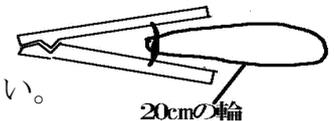
(1 cm幅の平ゴムがよい)

(7)その他

○のり …… 容器の青いふたを外しておいてください。

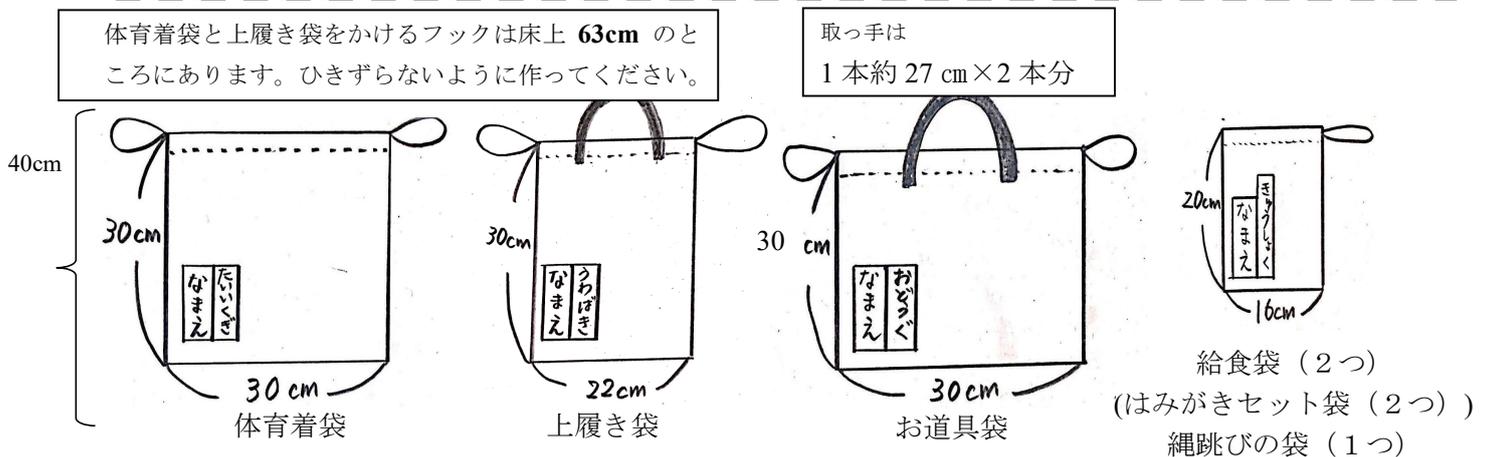
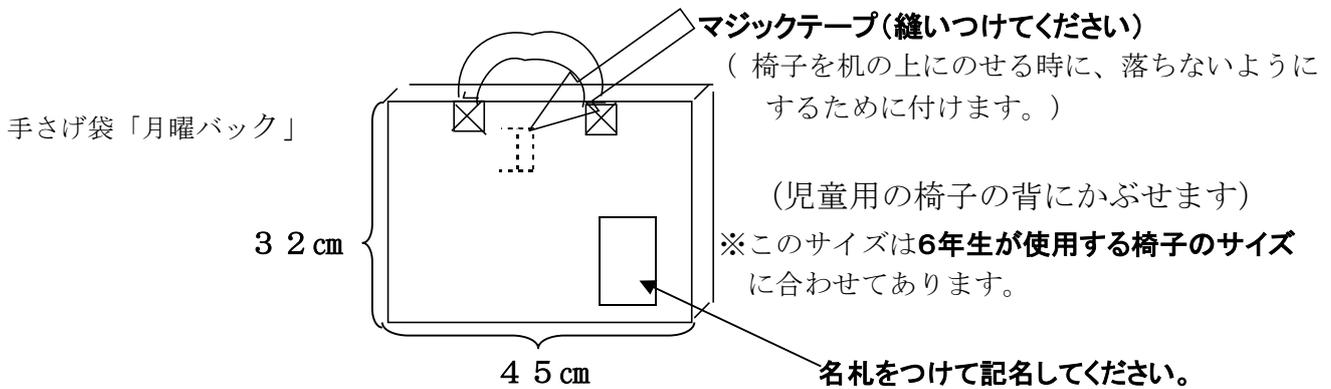
○粘土 …… すぐに使用できるように、新しく購入した場合は袋を破いて粘土ケースへ直接粘土を入れておいてください。

○クレパス …… クレパスの中の紙は、取り除いておいてください。



【袋作り】

- ◆キルティングではなく、じょうぶな布で作ってください。
- ◆ひもは両側から通してください。
- ◆既製の物でも結構ですが、全て出来上がり寸法です。



※給食袋と歯みがきセット袋は2つずつあると便利です。

少し大きめに作って、ランチクロス、はみがきを1つにまとめてもよいです。

※縄跳び袋と歯みがきセット袋は給食袋と同じサイズです。

③身じたく等について

(1)服装

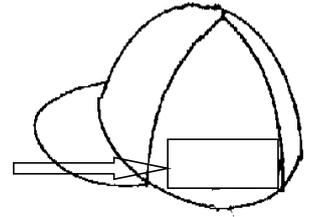
- ◆自分で着たり脱いだりでき、活動的で洗濯しやすいもの。ポケットが付いているもの。
- ◆後ろ開き、ボタン穴のかたい物は避けてください。
- ◆ポケットの中にはハンカチ・ちり紙を入れておいてください。(いつでも出せる場所)
- ◆ひも付きポシェットは、やめてください。
- ◆名札は左胸につけます。1年生ははじめのうちは家からつけてきます。
- ◆配布されたら名札の裏に、保護者氏名・住所・電話番号を記入してください。
- ◆名札は入学式当日に配付します。
- ◆衣類(下着、靴下も含め)にも全て記名してください。

(2) 帽子

指定のものを登下校、校庭での遊び、体育、校外学習時にかぶります。**赤色** (学年色) と黄色の帽子です。

◆「1の□ ○○○○」と名前布に書いてください。

例 1の1 さかど たろう

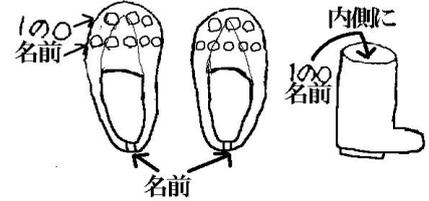


(3) 履き物

体育や遊んでいる時、脱げない大きさの運動靴にしてください。

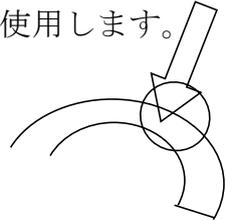
◆名前は、**外側に大きく、はっきり**と書いてください。

◆上履きは体育館履きと併用するため、底が厚くすべりにくいものを使用します。



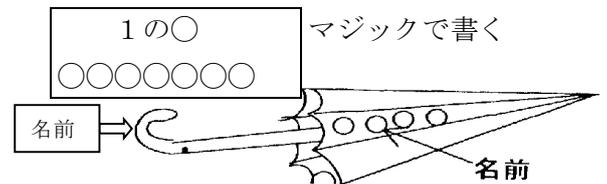
(4) 雨傘

油性マジックでじか書き



通学用 …… 黄色で折たたみでない物

置き傘 …… 黄色で折たたみの物



◆名前は持ち手と名札とネームバンドに、大きく分かりやすく書いてください。

◆傘は、自分で開閉でき、しまうときは巻いてマジックテープでとめられるようにしておいてください。

(5) ランチクロス・マスク・給食袋・歯みがきセット袋

◆ランチクロス …… およそ縦40cm×横60cm(洗い替え用に2枚)

◆マスク …… 汚れた時のために予備のマスクを用意し、ランドセルの小さなポケットへ入れておいてください。

◆給食袋 …… ランチクロスとマスクをいれます。

◆歯みがきセット袋…歯ブラシと取手付きカップ (うがい用)

大きめの袋にし、一つにまとめてもよい。

給食袋・歯みがきセット袋のサイズはP8をご覧ください。

◆それぞれ全てのものに名前をはっきり大きく書いてください。

◆給食当番の子どもは、学校で用意した給食着・帽子を身につけます。

当番終了後に持ち帰ります。**洗濯し、アイロンをかけ返却**してください。

(ほつれ等があった時には直してください。)

(6) 体育着 ……指定の物

◆体育着の胸と背中の名前用布に名字を記入します。

◆クォーターパンツは名札に記入し、**ひもを抜いておいてください。**

